

ダンボールコンポストモニター 実施概要

対象

市内在住で生ごみ処理器（コンポスト）や生ごみ処理機を利用したことがない10世帯
※令和5年11月26日（日）に開催した「環境Wave21」のイベントにて募集した

モニター期間

約3か月 令和5年12月上旬～令和6年3月上旬

実施方法

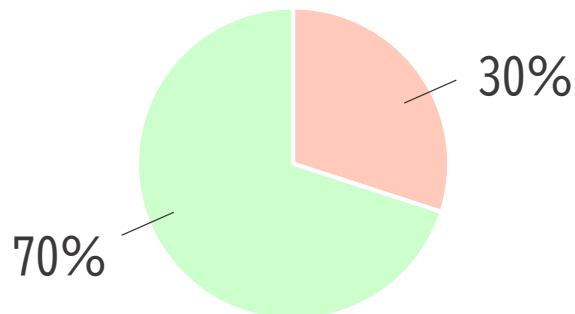
- ①対象者へダンボールコンポストの作り方や生ごみの投入方法等を説明し、基材を配布
- ②基材を家庭へ持ち帰り、基材以外のダンボール箱等の準備品を用意し、各家庭で実施
- ③実施開始から約1か月後と約3か月後を目安にアンケートへ回答

はじめての生ごみ減量にチャレンジいただき、率直なご意見をいただきましたので、今後の取り組みの参考に、次頁以降で紹介させていただきます。

今回のモニターは、冬場の期間に実施したため、生ごみの発酵状態や虫の発生状況等は、取り組まれる時季により異なります。

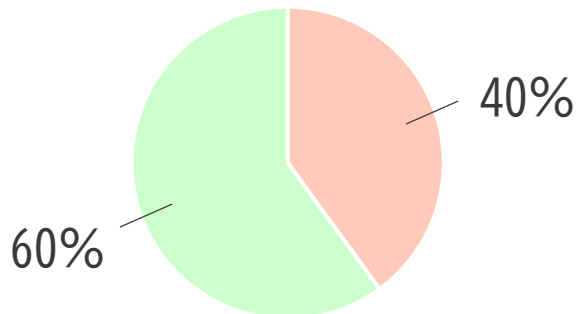
ダンボールコンポストモニターアンケート結果

生ごみの発酵状態



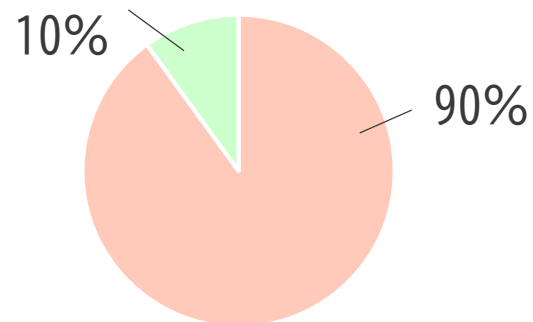
■ 順調 ■ なかなか無くならなかった

箱の状態



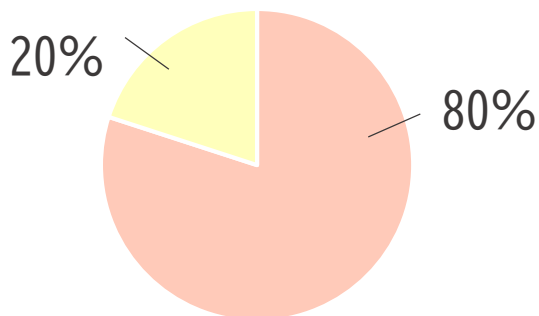
■ 問題ない ■ 部分劣化

臭いの発生状況



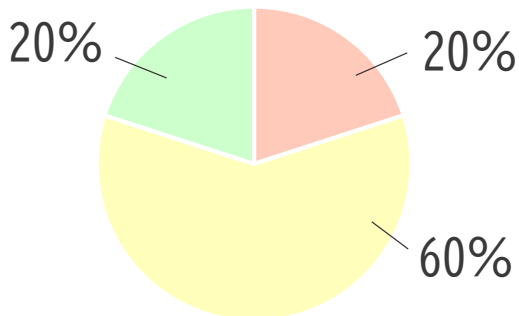
■ 気にならなかった ■ 少し気になった

虫の発生状況



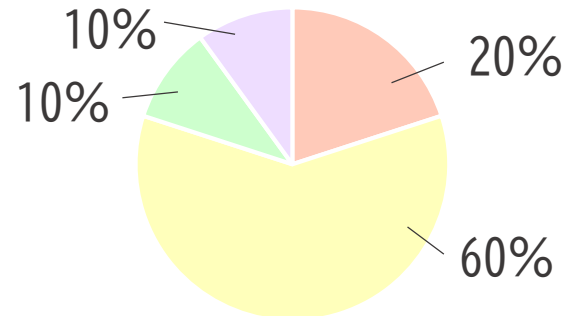
■ 発生しなかった ■ 気にならない程度

家庭ごみの減量効果



■ すごく感じた ■ 少し感じた
■ あまり感じなかった

やってみた感想



■ とても楽しかった ■ 楽しかった
■ あまり楽しくなかった ■ 苦痛

モニターアンケート 感想・写真 ①



想像以上に入れられない物が多く、入れられる量も少なく、ごみの量が減るのか？ごみは発酵するのか？と心配でしたが、燃えるごみを1週間に1回出していたのが、1.5-2週間に1回に減り、いつの間にか発酵もしていて面白かった。

【熊味町 N様、設置場所:勝手口を出たところ（屋根あり）】

生ごみがほぼ堆肥となりごみはほぼゼロ状態。ごみを減らそうという意識が生ごみだけに限らず色々努力する気持ちになりました。ダンボールコンポストは気軽に本当に楽しく出来ました。【笹曽根町 T様、設置場所:出窓の下】



モニターアンケート 感想・写真 ②

生ごみが無くなっていくのが不思議でかき混ぜる作業は楽しく出来ました。良い体験ができました。出来た肥料をプランターに使用するのが楽しみです。

【吉良町 K様、設置場所:車庫】



3ヶ月の間、ダンボールコンポストを続けて来て、段ボールコンポストに愛着が湧いて来ました。ペットに餌をあげる感じで、わざわざ、生ごみを用意してしまうようになっていました。【深池町 K様、設置場所:勝手口の入り口】



モニターアンケート 良い点・悪い点

○良い点

- ・野菜を自宅で作っているため、生ごみの量がかなり多い方だが、ダンボールコンポストのおかげでゴミにならなかった。
- ・ゴミ捨て時の不快臭が無いことはメリットだと感じた。
- ・燃えるゴミのごみ出し頻度を減らすことができた。
- ・生ごみだけに限らず、ゴミを減らそうという意識が向上した。
- ・生ごみの変化を楽しみながら取り組めた。
- ・生ごみが無くなっていくのが不思議でかき混ぜる作業は楽しくできた。

△悪い点

- ・生ごみが減らず、発酵しているのかどうか分からない。
- ・コンポストに入れられるものと、不向きな物等を分ける作業が、手間に感じた。
- ・野菜クズ等が大きめだといつまでも残ってしまうので、投入のためにわざわざ細かくしなくてはならないところが少し面倒だ。
- ・フルタイムで仕事をしていて、生ごみを設置場所に捨てに行くことがなかなか難しかった。